

## 令和7年度3学期始業式での校長式辞

新たな年の幕開けです。令和8年を迎えて葦原中の生徒の皆さんは今、何を思うのでしょうか。「勉強が今よりできる様になりたい」「部活動で優勝したい」「希望先の高校に合格したい」・・・様々な夢や希望を持った事でしょう。人類の素晴らしい発明の一つには、永遠に止まらない時間というものに節目や行事などを設けて改めて自分を振り返り、新たな夢や希望を持つ事ができるようになりました。この新年という節目に接し、皆さんは自分の夢や希望を叶えて幸せになりたいという思いを強く持ったはずです。

しかし幸せとは一人では叶えられないものなのです。人との係りの中で生まれるものだと思っています。部活動で優勝したいと一人でがんばっても集団競技では優勝できません。勉強を一人でがんばっても学校の友人や先生やご家族との豊かで穏やかな時間がないと勉強ははかどりません。たとえ一人でがんばって夢が叶ったとしても一時的な満足で終わり、またもっと〇〇したいという夢や希望が湧いてきます。それは当たり前の事です。人は誰でも欲があるからです。やはり私たちは幸せになるためには誰とでも良い人間関係をつくらねばなりません。

では良い人間関係をつくるにはどうしたら良いのでしょうか。そのためには『自分を振り返る習慣を身に付ける事』だと思っています。例えば友人とけんかをした時、あいつのあの一言が許せない。あいつのあの態度が気に入らない・・・。こんな思いを抱く事があるでしょう。そんな時、自分だって気づかない時に相手を不快な思いにさせた事があるんじゃないか・・・と思えば怒りの気持ちは半分になります。また通知表やテスト結果をみてお父さんやお母さんから叱られた時、うるさいなあとかまたかよという感情を覚えた事はありませんか。でも振り返れば、確かに勉強が足りなかったなとか親だから自分の事を思って厳しい事を言ってくれているのかもしれないな・・・と思えばもやもやした思いも半減します。心が穏やかになれば物事を感情に流される事なく穏やかに眺める事ができます。見えなかったものやことも見える様になります。すると自然と人の言動が気にならなくなり、誰とでも豊かな人間関係がつくれてくるのです。人は皆、心で生きているという事です。

今朝、皆さんは教室に入って何を感じましたか。ある教室には大きな門松のイラストが描かれていました。ある教室ではお馬さんのイラストが描かれてい

ました。またある教室には熱く長いメッセージが書かれていました。皆さんはそうした黒板を見て何を感じましたか。3学期の始業式を迎えるにあたって担任の先生はどんな思いでこうしたイラストやメッセージを描いたと思いますか。今年の葦中生には見えないものや見えない心を感じられる人になってほしいと願っています。見えないものや心を感じる心は年齢や性別は全く関係ありません。中学生でも見える人もいれば大人であって見えない人もいます。

皆さんのこれから3学期の躍動する姿を楽しみにしています。最後にこの体育館で始業式を始めるにあたり、朝早くから暖房スイッチを入れてくれた先生、ストーブを出して寒さ対策を更に万全にして下さった先生に心から感謝申し上げます。そうした先生方の温かな心が今、こうして快適な始業式を迎える事ができました。さあ3学期のスタートです。ともに新たな葦原中学校を創っていきましょうね。

令和8年1月8日（木）

校長 山崎 祐一